



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6357 URL <https://www.sansei-technologies.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 渡邊 文人 TEL 06-6393-5621
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月4日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	27,350	17.0	475	△9.1	742	21.9	303	22.6
2024年3月期中間期	23,375	34.6	523	—	609	—	247	—

(注)包括利益 2025年3月期中間期 2,742百万円 (△20.2%) 2024年3月期中間期 3,435百万円 (140.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	16.30	16.13
2024年3月期中間期	13.33	13.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	85,149	44,391	51.5
2024年3月期	81,200	41,991	51.0

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 43,859百万円 2024年3月期 41,372百万円

(注)2024年3月期に行われた企業結合において、前連結会計年度では暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に確定したため、2024年3月期について確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	25.00			
2025年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	64,000	22.4	5,100	61.2	5,400	49.8	3,300	59.3
								177.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社（社名） 、 除外 ― 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	19,332,057 株	2024年3月期	19,332,057 株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	636,227 株	2024年3月期	739,039 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	18,642,828 株	2024年3月期中間期	18,587,022 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内の経済環境は、インバウンド需要の拡大や、雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直しの動きなど、緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で、円安やこれに伴う国内資源・原材料価格の上昇傾向、長期化する不安定な国際情勢などが継続しており、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社事業においては、遊戯機械では国内外での受注環境が好調なことや補修部材の需要が伸びている他、舞台機構ではコンサートやイベントの仮設舞台装置の需要が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は27,350百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は475百万円（前年同期比9.1%減）、経常利益は742百万円（前年同期比21.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は303百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上を含んでおりません。）

遊戯機械

海外を中心に工事が進捗し、補修部品の需要も引き続き強かったものの、一部の不採算工事や債権回収の遅れによる引当の影響などにより、セグメント売上高は16,868百万円（前年同期比23.9%増）、セグメント損失は341百万円（前年同期はセグメント利益415百万円）となりました。

舞台設備

コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が大きく伸びたことに加え、常設の舞台機構でも改修工事が順調に進捗、完工したことから、セグメント売上高は7,583百万円（同11.0%増）、セグメント利益は1,329百万円（同121.9%増）となりました。

昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗したことに加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移したことから、セグメント売上高は2,830百万円（同0.9%減）、セグメント利益は392百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

その他

売上高は67百万円（同12.0%減）、セグメント利益は33百万円（同5.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

資産は、前連結会計年度末に比べ3,949百万円増加し、85,149百万円となりました。これは主に、売上債権が1,726百万円、投資有価証券が509百万円減少したのに対し、現金及び預金が1,900百万円、有形固定資産が1,472百万円、仕掛品が570百万円、原材料及び貯蔵品が1,006百万円増加したことなどによります。

（負債の部）

負債は、前連結会計年度末に比べ1,549百万円増加し、40,758百万円となりました。これは主に、短期借入金が585百万円、契約負債が528百万円、支払手形及び買掛金が279百万円増加したことなどによります。

（純資産の部）

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,400百万円増加し、44,391百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が361百万円、配当金の支払いなどにより利益剰余金が68百万円それぞれ減少したのに対し、円安進行により為替換算調整勘定が2,740百万円増加したことによります。

キャッシュ・フローの状況につきましては当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,900百万円増加し24,132百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,391百万円の収入(前年同期は2,406百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益742百万円、減価償却費が645百万円、売上債権及び契約資産の減少2,797百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加1,211百万円、契約負債の減少413百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,504百万円の支出(前年同期は578百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,433百万円、無形固定資産の増加による支出107百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、553百万円の支出(前年同期は3,593百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出600百万円、配当金の支払371百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において2024年5月9日に公表した数値を見直しておりません。今後の業績の推移により、見直しの必要性が生じた場合には、すみやかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,264,385	24,165,291
受取手形、売掛金及び契約資産	20,837,849	19,111,411
電子記録債権	111,055	234,149
仕掛品	1,759,280	2,330,015
原材料及び貯蔵品	3,290,577	4,296,816
その他	1,663,973	2,464,330
貸倒引当金	△874,508	△1,042,603
流動資産合計	49,052,614	51,559,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,917,692	5,034,242
土地	4,301,137	4,466,316
その他（純額）	2,124,701	3,315,926
有形固定資産合計	11,343,531	12,816,485
無形固定資産		
のれん	8,471,718	8,675,626
その他	1,927,521	1,996,704
無形固定資産合計	10,399,239	10,672,331
投資その他の資産		
投資有価証券	8,455,956	7,946,926
その他	1,949,285	2,155,150
貸倒引当金	△462	△462
投資その他の資産合計	10,404,779	10,101,613
固定資産合計	32,147,550	33,590,430
資産合計	81,200,165	85,149,841

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,582,623	3,862,157
短期借入金	5,921,895	6,507,703
1年内返済予定の長期借入金	6,177,287	6,201,287
未払法人税等	307,716	462,714
未払消費税等	276,334	134,688
契約負債	10,291,855	10,820,552
賞与引当金	586,180	561,377
役員賞与引当金	23,682	4,256
工事損失引当金	707,914	815,308
その他	2,342,064	2,989,716
流動負債合計	30,217,554	32,359,762
固定負債		
長期借入金	4,720,506	4,203,862
繰延税金負債	1,699,629	1,540,856
退職給付に係る負債	2,046,243	2,099,245
その他	524,758	554,372
固定負債合計	8,991,137	8,398,336
負債合計	39,208,691	40,758,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,456,267	2,467,546
利益剰余金	27,424,181	27,356,173
自己株式	△372,572	△314,067
株主資本合計	32,759,156	32,760,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,706,306	3,344,754
繰延ヘッジ損益	80,240	209,758
為替換算調整勘定	4,741,584	7,481,724
退職給付に係る調整累計額	85,332	62,521
その他の包括利益累計額合計	8,613,463	11,098,758
新株予約権	202,462	164,267
非支配株主持分	416,391	367,783
純資産合計	41,991,473	44,391,742
負債純資産合計	81,200,165	85,149,841

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	23,375,127	27,350,571
売上原価	17,201,046	19,860,839
売上総利益	6,174,080	7,489,731
販売費及び一般管理費	5,650,716	7,014,014
営業利益	523,364	475,717
営業外収益		
受取利息	68,621	251,710
受取配当金	95,053	123,092
保険配当金	13,041	12,566
その他	58,045	35,882
営業外収益合計	234,761	423,251
営業外費用		
支払利息	133,355	137,122
支払手数料	2,234	1,733
為替差損	11,915	14,861
その他	1,390	2,589
営業外費用合計	148,894	156,306
経常利益	609,231	742,662
特別利益		
固定資産売却益	2,605	-
特別利益合計	2,605	-
特別損失		
固定資産除却損	13,474	-
特別損失合計	13,474	-
税金等調整前中間純利益	598,362	742,662
法人税等	350,591	524,869
中間純利益	247,771	217,792
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	-	△86,059
親会社株主に帰属する中間純利益	247,771	303,852

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	247,771	217,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	720,857	△361,552
繰延ヘッジ損益	77,063	129,517
為替換算調整勘定	2,413,517	2,779,295
退職給付に係る調整額	△23,942	△22,811
その他の包括利益合計	3,187,495	2,524,450
中間包括利益	3,435,266	2,742,242
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,435,266	2,790,850
非支配株主に係る中間包括利益	-	△48,607

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	598,362	742,662
減価償却費	564,761	645,490
のれん償却額	440,401	522,259
賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,204	△24,802
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,988	△19,426
工事損失引当金の増減額(△は減少)	30,860	63,349
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,166	21,756
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33,543	83,104
受取利息及び受取配当金	△163,675	△374,802
支払利息	133,355	137,122
固定資産売却損益(△は益)	△2,605	-
固定資産除却損	13,474	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	2,249,335	2,797,952
棚卸資産の増減額(△は増加)	△971,270	△1,211,202
仕入債務の増減額(△は減少)	△863,490	29,574
契約負債の増減額(△は減少)	△252,428	△413,565
未払消費税等の増減額(△は減少)	△173,873	△141,645
未収消費税等の増減額(△は増加)	365,428	118
その他の資産の増減額(△は増加)	496,900	△794,804
その他の負債の増減額(△は減少)	△330,665	729,058
その他	215,158	△52,941
小計	2,251,461	2,739,257
利息及び配当金の受取額	163,675	253,675
利息の支払額	△136,681	△130,913
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	128,129	△470,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,406,585	2,391,068

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	20,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△337,868	△1,433,758
有形固定資産の売却による収入	5,548	-
無形固定資産の取得による支出	△231,122	△107,696
貸付けによる支出	△2,300	△3,260
貸付金の回収による収入	3,856	3,675
その他	△16,861	36,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△578,747	△1,504,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,607,465	443,255
長期借入金の返済による支出	△590,618	△600,643
リース債務の返済による支出	△24,549	△24,496
ストックオプションの行使による収入	33	102
自己株式の取得による支出	-	△147
配当金の支払額	△370,727	△371,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,593,328	△553,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,129,701	1,568,167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△635,788	1,900,905
現金及び現金同等物の期首残高	16,396,397	22,231,178
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,760,608	24,132,083

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表及び連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,610,222	6,830,622	2,857,657	23,298,501	76,625	23,375,127	-	23,375,127
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	6,410	-	-	6,410	360	6,770	△6,770	-
計	13,616,632	6,830,622	2,857,657	23,304,911	76,985	23,381,897	△6,770	23,375,127
セグメント利益 又は損失(△)	415,134	598,825	309,588	1,323,548	35,575	1,359,123	△835,759	523,364

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レジャー・サービス業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,868,949	7,583,649	2,830,537	27,283,136	67,435	27,350,571	-	27,350,571
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,445	-	-	1,445	360	1,805	△1,805	-
計	16,870,394	7,583,649	2,830,537	27,284,581	67,795	27,352,376	△1,805	27,350,571
セグメント利益 又は損失(△)	△341,322	1,329,036	392,731	1,380,445	33,572	1,414,018	△938,301	475,717

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レジャー・サービス業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2023年9月30日に行われたLaird Holdings Inc. との企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間の中間連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、のれんとして計上していた金額の一部を組み替えております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額918,809千円は、会計処理の確定により221,307千円減少し、697,501千円となっております。また、前連結会計年度末は、無形資産が413,877千円、繰延税金負債が109,677千円それぞれ増加しております。